

令和 6 年度 第 3 回栗東市環境センター施設更新整備検討委員会

議事概要

- 1 開催日時：令和 6 年 9 月 26 日（木） 14 時 00 分～15 時 40 分
- 2 開催場所：栗東市役所 3 階 談話室
- 3 出席者：委員 5 名、環境経済部長、事務局 3 名、コンサルタント委託事業者 2 名
- 4 次 第
 - (1) 開会
 - 1 委員長挨拶
 - (2) 協議事項
 - 1 処理方式の見直しについて
処理方式の見直し評価について【資料 1】
基幹的設備改良工事による延命化との比較検討について【資料 2】
 - 2 事業方式の見直しについて
事業方式の見直しについて【資料 3】
 - 3 ごみ処理施設整備基本計画【改訂版】について
ごみ処理施設整備基本計画【改訂版】（素案）【資料 4】
 - 4 P F I 等導入可能性調査報告について
P F I 等導入可能性調査報告書（案）【資料 5】
 - (3) その他
 - 1 その他

5 議事概要

(1) 開会

1 委員長挨拶

(2) 協議事項

1 処理方式の見直しについて

処理方式の見直し評価について

[主な意見等]

- ・4 ページ、評価基準⑥「最終処分する処理残渣量」のハイブリッド方式のところの説明の最後の方で、「一方、メタン発酵時に硫黄分は硫化水素として発酵残渣から除かれるため、排ガス中の硫黄分負荷は減少し、処理に必要な消石灰量に起因する飛灰量は減少する。」というところの「処理」については、処理という文言がたくさんでてくるので、誤解を招かぬよう「焼却処理」とし、「焼却処理に必要な消石灰量に起因する飛灰量は減少する。」としておく方がよいと思います。(委員)
→事務局の方でご検討をいただいて、誤解のない範囲で整理いただくということをお願いします。(委員長)
- ・5 ページ、評価基準⑨「災害時の自立起動・継続運転の可能性及び災害廃棄物の受入れ」、好気性発酵乾燥方式の2点目の評価内容のところで、「避難所の可燃ごみは、」と書いてあるのですが、避難所の可燃ごみは災害廃棄物ではないと思います。(委員)
→事務局の方でご検討をいただいて、修正の必要があればお願いします。(委員長)
- ・6 ページ評価基準⑮「売電収入」について、好気性発酵乾燥方式のところで、固形燃料の売却収入についての記載内容があることから、簡単ですが、等を入れて「発電等収入」としていただければ、意味が通ると思います。
→事務局の方で文言の修正をお願いします。(委員長)
- ・処理方式の見直し評価について検討を行った結果、栗東市環境センターが所在する場所における施設の更新整備にとって最適な処理方式については、ストーカ方式として決定してもよろしいでしょうか。(委員長)
→了承(委員一同)

基幹的設備改良工事による延命化との比較検討について

[主な意見等]

- ・基本的な方向としては、延命化の方が、色々な意味でプラスであるという方向でまとめられていると思うのですが、延命化をした場合には、15年間という稼働期限があることから、新しい施設が稼働すると同時に、広域化についての話も含めて次の施設をどうするのかについて考えなくてはなりません。正直、時間がある

ようでないと思っています。この文章では15年後の姿が見えないので、また、今の状況と同じことが繰り返されるという不安があることから、その辺のことを、何かの形で表すことも考えてもらえるとありがたいと思います。(委員)

→地域の住民説明会でもご説明をさせていただきました通り、この施設を更新するにあたり、社会的な実情等も踏まえて、広域化の調整状況などについても、地域要望の進捗状況とあわせて、年次的に報告を行うお約束をさせていただいておりますので、新たな契約の更新内容等におきまして、そういった内容を反映し、確約をさせていただきたいと思います。(事務局)

- ・23 ページ表 15 の定性的な比較評価のところ、比較項目として11項目ありますが、この中で、「新設更新する場合と遜色ない」という表現が4箇所ありますが、「新設更新する場合と遜色ない」というのは、少し言い過ぎではないかと思っています。(委員)

→「新設更新する場合」の方が実質的なパフォーマンスとしては高くなることは明らかであり、この文言を外したとしても、処理システムの評価内容は変わらないことから、この部分については削除する方向で文言の修正をさせていただきます。(事務局)

- ・定量化できない事項についての定性的な比較評価について、表 15 の比較評価の評価印や評価内容から、評価のまとめ方として、「延命化の方が効果的である」という表現ではなく、「新設更新する場合」も「延命化する場合」も遜色ないレベルが保てる位の表現が良いのではないですか。(委員)

→定量化できない事項についての定性的な比較評価のまとめについて、表現の見直しを行います。(事務局)

- ・28 ページ、参考資料 3 の比較評価の説明文で、「廃棄物処理 L C C のみの比較では、発電設備を設置しない場合の方が、廃棄物処理 L C C を 8 億 6 千万円低減できるが、定性的な比較における、循環型社会形成推進交付金等を含めた比較では、発電設備を設置する場合の方が約 5 億 3 千万円低減できる結果となる」とありますが、国の交付金を活用するか、他の財源を活用するかは別として、お金を使うことにかわりはなく、国からの交付金の活用により安く済むというのは、栗東市の財政運営上の話になりますので、そのような書き方にしないと、国からの交付金を活用すれば、廃棄物処理 L C C が安くなると思われるようなことがないようにしていただきたいです。ただ、市の財政運営上、極めてメリットがあるということについては、書いていただいてもいいと思います。

→誤解が生じないような表現に修正をお願いします。(委員長)

- ・発電設備の設置を伴う基幹改良について、今の場所において、基幹改良による延命化を図る場合に、発電設備を設置するための十分なスペースの確保はできるのでしょうか。(委員)

→発電設備を設置する場合につきましては、経年劣化による損耗等により、現在運転を停止している灰溶融炉を撤去し、空いたスペースのところに発電設備を設置する形で整備が進められる計画となります。(事務局)

- ・基幹的設備改良工事による延命化との比較検討の結果、整備手法については、新設による更新整備より、基幹改良による更新整備が望ましいということで決定してもよろしいでしょうか。(委員長)

→了承(委員一同)

2 事業方式の見直しについて

事業方式の見直しについて

[主な意見等]

- ・36 ページの、定性的評価の表 12、5 番目の項目「リスク分担とリスク低減」について、DB+O方式のところに契約不適合という言葉が出てきていますが、書くならば他の事業方式のところにも全部書くべきです。このままの表現では、誤解を生むと思いますので、施設整備と運転・維持管理におけるリスク分担についてそれぞれの事業方式の実態にあわせて、評価の記載内容について修正が必要です。(委員)

→DB方式の場合は、直営で考えるとよいので、公共が全てリスクを負うことになります。DBO方式では、施設整備と運転・維持管理をおこなう事業者が同じであることから、いずれの業務においても契約等によりリスクが明確化され、公共から事業者へのリスク移管等が図れます。DB+O方式では、整備と運転・維持管理をおこなう事業者がそれぞれ別の事業者となる場合が多いことから、原則的に、施設整備については、公共がリスクを負うことになりますが、運転・維持管理については、契約等によりリスクが明確化され、公共から事業者へのリスク移管等が図れます。(委員)

→それぞれの事業方式の実態にあわせて、評価の記載内容について修正を行います。(事務局)

- ・事業法方式について見直しを行った結果、前回調査において選定されたDBO方式の優位性を覆すの要素が見られなかったことから、事業方式については、引き続きDBO方式とすることで問題がないとしてもよろしいでしょうか。(委員長)

→了承(委員一同)

3 ごみ処理施設整備基本計画【改訂版】について

ごみ処理施設整備基本計画【改訂版】(素案)について

[主な意見等]

- ・今回は延命化になるので、延命化に関わる財源だけを書けばいいのではないかと思います。資料を直していただきましたが、エネルギー対策特別会計のCO₂交付金の方に

については、メニューはあるのですが、活用事例があまりみられないことから、資料の内容に問題がないか事務局の方でもしっかりと確認をお願いします。（委員）

- ・「ごみ処理施設整備基本計画改訂版（素案）」につきましては、本日いただきましたご意見等に基づいて、内容について修正を行ったものを、「ごみ処理施設整備基本計画改訂版（案）」としてとりまとめるということによろしいでしょうか。（委員長）

→了承（委員一同）

4 PFI等導入可能性調査報告について

PFI等導入可能性調査報告書（案）について

[主な意見等]

- ・51 ページ (5)「リスク分担とリスク低減」について、事業方式によりリスクが適切に分担されるだけであり、リスクそのものが減るわけではないことから、「リスクの低減」という文言については、削除したほうが良いと思います。（委員）

→「リスクの低減」の文言については削除します。（事務局）

- ・「PFI等導入可能性調査報告書（案）」につきましては、本日いただきましたご意見等に基づき、内容についての修正を行ったものを、「PFI等導入可能性調査報告書」としてとりまとめることとしてもよろしいでしょうか。（委員長）

→了承（委員一同）

（4）その他

1 その他

今後のスケジュール等について

- ・本日、この検討委員会におきまして、とりまとめをいただき、提言をいただきます「ごみ処理施設整備基本計画改訂版」（案）につきましては、市の案とすることについて組織決定をさせていただき、パブリックコメントを実施し、その結果を踏まえ、12 月末には、「ごみ処理施設整備基本計画改訂版」として策定する予定となっております。なお、パブリックコメントにつきましては 10 月の中旬ごろから約 1 ヶ月の期間での実施を予定しております。12 月の月上旬頃には、その結果についてとりまとめができると思いますので、委員の皆様には、改めて結果についてのご報告をさせていただく予定です。パブリックコメントの結果により、大きな変更を伴う内容が生じた場合につきましては、改めて検討委員会をお願いすることになります。なお、本日の検討委員会における協議検討内容や、パブリックコメントの結果に基づく文言等の修正につきましては、委員長に一任していただく形で今後進めていきたいと考えておりますので、他の委員の皆様におかれましては、ご了承をお願いいたします。（事務局）

以上